

前期終業式 ・ 後期始業式にあたって

今日は、昼間定時制における前期の終業式・後期の始業式、前・後期の入れ替わりの日となります。令和6年度前半はみなさんにとってどのような半年間だったでしょうか。今日という日を、気持ちを切り替えるきっかけにさせていただきたいと思います。

本日1・2限に履修登録説明会が行われました。普段よりは少し真剣に将来のことを考えるきっかけになったでしょうか。

「勉強するから、何をしたいかわかる。勉強しないから、何をしたいかわからない」

これはお笑い芸人、俳優、脚本家、映画監督をこなす、ビートたけし こと 北野武さんの言葉です。

私がこれまで教員として生徒たちと話をしてきた中で、「自分が好きなこと・夢中になれることが何かよくわからない。だから学校の勉強はやる気にならない。」という人が大勢いました。そういう生徒たちに、「まずは、学校に関することじゃなくてもいいから、集中して一つのことに力をいれてみたら？」とアドバイスしていました。

『生徒会執行部の活動』『唯一好きな科目・体育』『演劇部の活動』『お菓子作り』『イラストを描くこと』など、人それぞれでしたが、数か月、半年が過ぎると、徐々にやりたいことが見えてきた、という人が多くいました。そして、その実現に向けてそれぞれに準備や勉強を始めました。そしてそれぞれにやりたいことを見つけ、今は社会人として頑張っています。

私たちが知っている仕事の種類なんてたかが知れています。勉強してみてはじめて、こんな仕事があるんだ、ということがわかるものです。皆さんが生きていくこれからの社会は、変化が激しい予測困難な時代になると、よく言われます。ですから、今存在しない仕事が、5年後には社会に必要不可欠な仕事になっているということだってあり得るのです。

歴史を振り返るまでもなく、誰にとっても未来は常に予測困難なものです。私たちには、世の中の変化を見ながら、自分が熱中できることを見つけ、必要とされる知識や技術を身に付けようとする態度、すなわち「勉強する」ことが必要なのです。

学校での勉強は、一見すると意味がないことのようにも思えますが、皆さんにとって将来必要とされる「学び続けること」を習慣として身に付けることが目標の一つです。

9月の中央セミナーの講師の宮田知己さんはバスケットボール日本代表を世界一にすること、そして多くの犬や猫たちを助けることを人生の目標としていると話していました。

好きなこと、関心のあることを見つけた先に、大きな目標が見えてきたのだと思います。その目標の実現には「学び続けること」が必要なのは宮田さんのお話のとおりです。

高校卒業後の進路は、進学や就職など大きな分かれ道となります。皆さん自身の人生ですから適当に決めるわけにもいかず、周りの人のまねをするわけにもいきません。悩むのも当然のことです。

本校には「単位制」という大きな特色があります。学ぶべき科目を選び、自分に合ったカリキュラムを作成するという他校にはない仕組みです。そしてそんな皆さんを支援するためにスタッフの先生方がいます。先生方に相談しつつ、興味のある学問分野をより深く学べるように、そして同時に将来の進路を考えて、科目を選択して欲しいと願っています。

もし自分の将来や進路について不安を感じたり悩んだりしたら、すぐに身近な先生方に相談してください。私たちはいつでも皆さんを応援しています。

校長 長谷川哲司